



知っていますか?

LGBTQ

性の多様性について



L: レズビアン
G: ゲイ
B: バイセクシャル
T: トランスジェンダー
Q: クエスチョニング

12月4日から10日は人権週間です。

人権週間は、国連総会において「世界人権宣言」が採択されたことを記念して定められたもので、今年で73回目となります。

新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別、いじめや虐待、インターネット上における誹謗中傷など人権に関するお悩みや心配事で困っている人はお気軽にご相談ください。

また、誰もが自分らしく生きることのできる社会づくりを目指して、LGBTQについても考えてみましょう。 **問市民課** Tel 0994-31-1114

電話相談窓口

- 鹿児島地方務局鹿屋支局 Tel 0994-43-6790
- みんなの人権110番 Tel 0570-003-110
- 子どもの人権110番 Tel 0120-007-110
- 女性の人権ホットライン Tel 0570-070-810
- ※受付時間 8:30～17:15 (土・日・祝日を除く)
- ※子ども110番以外の通話料金は、相談者負担

性の多様性という言葉を知ることがありますか。性は「男」「女」の2つではありません。からだの性、心の性、表現する性、好きになる性などいろいろな性があります。例えば、からだの性が男性で心の性が女性であるという人もいます。また、からだの性が女性で、好きになる性も女性という人もいます。

最近では、LGBTQという言葉も耳にすることが増えてきていますが、これも多様な性の言葉です。L (女性として女性が好き)、G (男性として男性が好き)、B (両方の性が好き)、T (からだの性と心の性が一致していない)、Q (自分の性がはっきりしない) という意味です。ある調査によるとLGBTQの

「にじいろおおすみ。」から学ぶ「LGBTQ」について



「にじいろおおすみ。」
とくだ ひろみ 代表

みんなの居場所「にじいろおおすみ。」は、鹿屋市で24歳以下のLGBTの子どもたちが、安心して嘘偽りなく、ありのままにいられる場です。
～「にじいろおおすみ。」交流会～
○日時：毎月第4日曜日 14:00～15:30
○場所：リナシティかのや2階和室

人は、全体で8%位だと言われています。鹿屋市の人口に当てはめると約8,000人です。「会ったことがない」という人がいるかも知れませんが、周りの人たちに言えないのです。これまで嫌なことを言われたり差別されたりしてきた経験があったりするからです。

これからの時代は、SDGsにもあるように、この社会から差別や偏見がなくなり、本当の意味での「みんな違って、みんないい」の社会になっていくはずですが。みんなの居場所「にじいろおおすみ。」では、LGBTQの子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりをしています。子どもたちの声を大事にしながらかつ素敵なまち「鹿屋」を目指していきましょう。

市では人権週間にあわせて様々な取り組みを行います！ 12月4日(土)～10日(金)

展示

市役所1階ロビーでのアウェアネス・リボンツリーの展示



上映

市役所1階ロビーでの「性的マイノリティと人権」啓発ビデオの上映



その他

- 市役所本庁の懸垂幕掲示
- FMかのやでの広報
- 人権啓発グッズの配布



人KENまもる君
人KENあゆみちゃん

※SDGs = 持続可能な開発のための国際的な開発目標
※アウェアネス・リボン = 使用者がさりげない支援や賛同の声明を出す方法